

# 2006年3月期第1四半期 決算概要のご説明

**NRI** 野村総合研究所

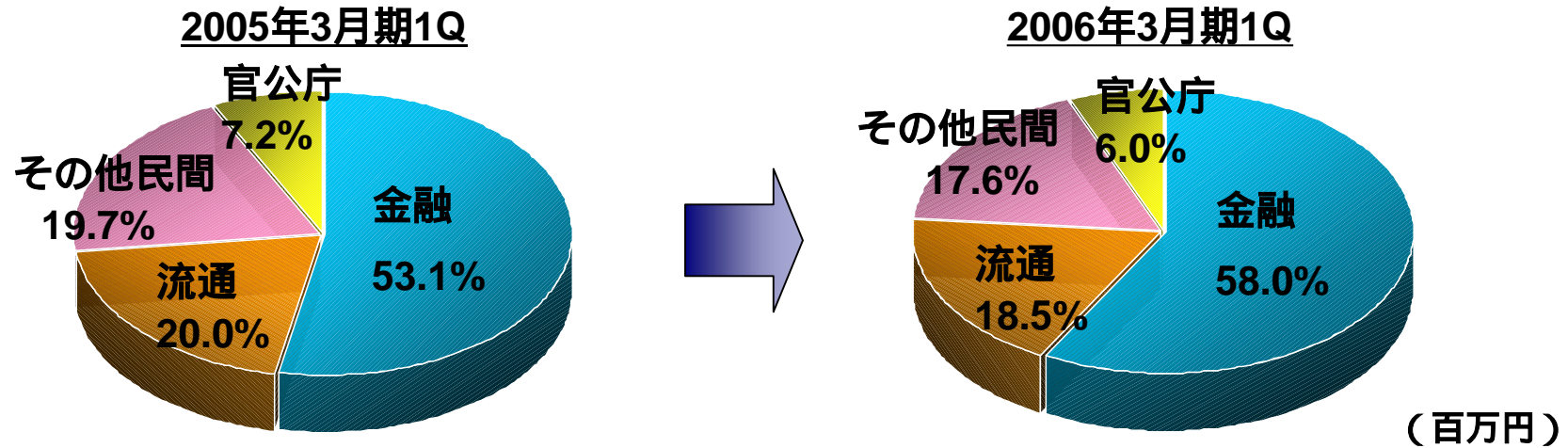
2005年7月28日

# 第1四半期決算ハイライト（連結）

（百万円）

	2005年3月期1Q (4月～6月)	2006年3月期1Q		
		(4月～6月)	増減額	増減率
売上高	53,245	60,664	+7,419	+13.9%
営業利益	5,338	6,267	+928	+17.4%
営業利益率	10.0%	10.3%	+0.3P	
経常利益	5,768	6,804	+1,035	+18.0%
当期純利益	3,430	3,961	+530	+15.5%

# 業種別売上高（連結）



	2005年3月期1Q		2006年3月期1Q			
	(4月~6月)	構成比	(4月~6月)	構成比	増減額	増減率
金融	28,279	53.1%	35,187	58.0%	+6,908	+24.4%
流通	10,627	20.0%	11,195	18.5%	+567	+5.3%
その他民間	10,478	19.7%	10,653	17.6%	+175	+1.7%
官公庁	3,860	7.2%	3,628	6.0%	231	6.0%
合計	53,245	100.0%	60,664	100.0%	+7,419	+13.9%
野村証券グループ	13,088	24.6%	14,630	24.1%	+1,541	+11.8%
イトーヨーカ堂グループ	6,891	12.9%	8,344	13.8%	+1,452	+21.1%

この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
Copyright(C) Nomura Research Institute, Ltd.

# 品目別売上高（連結）

（百万円）

	2005年3月期1Q		2006年3月期1Q			
	（4月～6月）	構成比	（4月～6月）	構成比	増減額	増減率
開発・製品販売	16,213	30.4%	22,644	37.3%	+6,431	+39.7%
運用処理	24,015	45.1%	25,007	41.2%	+992	+4.1%
商品販売等	4,157	7.8%	3,190	5.3%	967	23.3%
システムソリューション	44,386	83.4%	50,842	83.8%	+6,456	+14.5%
コンサルティング・ナレッジ	8,858	16.6%	9,821	16.2%	+962	+10.9%
合計	53,245	100.0%	60,664	100.0%	+7,419	+13.9%

# P/Lハイライト（連結）

（百万円）

	2005年3月期1Q （4月～6月）	2006年3月期1Q （4月～6月）	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>53,245</b>	<b>60,664</b>	<b>+7,419</b>	<b>+13.9%</b>
<b>売上原価</b>	<b>39,924</b>	<b>45,565</b>	<b>+5,640</b>	<b>+14.1%</b>
<b>外注費</b>	<b>15,306</b>	<b>18,976</b>	<b>+3,669</b>	<b>+24.0%</b>
<b>売上総利益</b>	<b>13,320</b>	<b>15,099</b>	<b>+1,778</b>	<b>+13.4%</b>
<b>売上総利益率</b>	<b>25.0%</b>	<b>24.9%</b>	<b>0.1P</b>	
<b>販管費</b>	<b>7,981</b>	<b>8,831</b>	<b>+849</b>	<b>+10.6%</b>
<b>営業利益</b>	<b>5,338</b>	<b>6,267</b>	<b>+928</b>	<b>+17.4%</b>
<b>営業利益率</b>	<b>10.0%</b>	<b>10.3%</b>	<b>+0.3P</b>	

# P/Lハイライト（連結）続き

（百万円）

	2005年3月期1Q （4月～6月）	2006年3月期1Q （4月～6月）	増減額	増減率
<b>営業利益</b>	5,338	6,267	+928	+17.4%
営業外損益	429	536	+107	+25.0%
<b>経常利益</b>	5,768	6,804	+1,035	+18.0%
特別利益	10	9	0	
特別損失	82	253	+170	
投資有価証券評価減	11	204	+192	
法人税等	2,265	2,599	+333	
<b>当期純利益</b>	3,430	3,961	+530	+15.5%

# キャッシュ・フロー（連結）

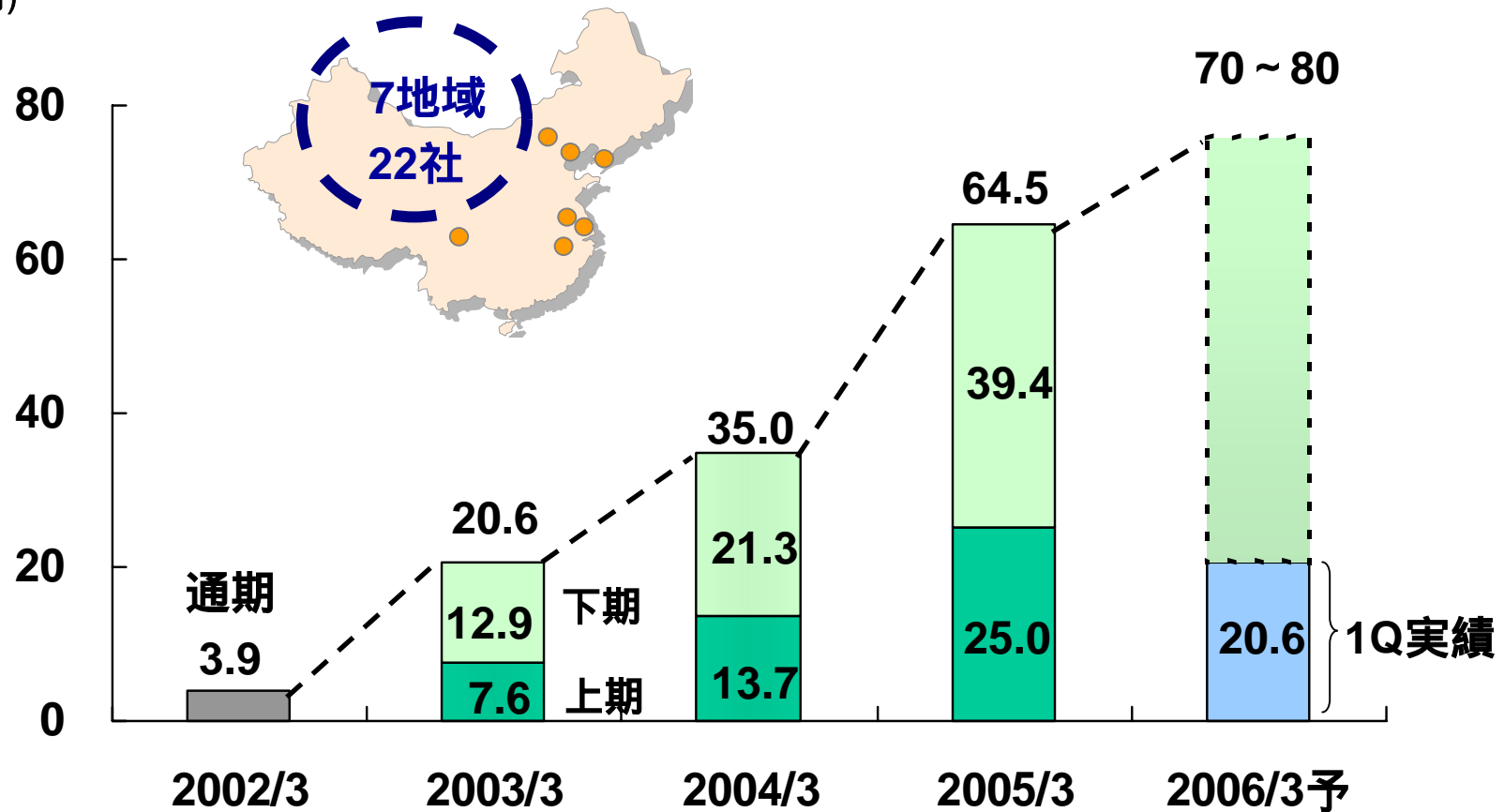
（百万円）

	2005年3月期1Q （4月～6月）	2006年3月期1Q	
		（4月～6月）	増減額
営業活動によるCF	2,136	3,575	+5,711
投資活動によるCF	3,946	8,826	4,880
(A)資金運用目的投資	-	5,839	5,839
フリー・キャッシュ・フロー	6,082	5,250	+831
(A)を除くフリー・キャッシュ・フロー	6,082	588	+6,671

# 中国外注活用の推移

## 中国オフショア開発委託の進捗

(億円)





# 受注残高（連結）

（百万円）

	2004年6月末	2005年6月末		
			増減額	増減率
開発・製品販売	17,360	22,175	+4,814	+27.7%
運用処理	62,729	67,881	+5,151	+8.2%
システムソリューション	80,090	90,056	+9,966	+12.4%
コンサルティング・ナレッジ	14,355	15,483	+1,128	+7.9%
合計	94,445	105,540	+11,094	+11.7%

# 業績進捗率（連結）

## ▶ 第1四半期業績の予想に対する進捗率

（百万円）

	2006年3月期1Q（4月～6月）		2006年3月期予想		
		進捗率 （中間比）	進捗率 （通期比）	中間期予想	通期予想
売上高	60,664	50.6%	23.3%	120,000	260,000
営業利益	6,267	46.4%	19.6%	13,500	32,000
経常利益	6,804	48.6%	20.6%	14,000	33,000
当期純利益	3,961	49.5%	20.3%	8,000	19,500
営業利益率	10.3%			11.3%	12.3%

- ・本資料は、2006年3月期第1四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
- ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# ご参考資料

# 第1四半期の取り組み

## 日本郵政公社

投資信託窓口販売  
システム構築など  
NRI、郵政  
公社から受注

野村総合研究所（NRI）は25日、日本郵政公社（生田正治総裁）から「投資信託窓口販売システムの構築、保守及び運用支援」案件を受注したと発表した。5年契約で受注額は17億8000万円。システム構築期間は約半年間で、秋にサービス開始の体制を整える。

NRIの投資信託パッケージソフト「ベストウェイ」をベースにシステムを構築。郵便局で投資信託の窓口販売に必要な窓口業務や後方業務などの一連の事務をカバーする。ベストウェイは地方銀行などで導入され、投資信託販売を行っている銀行の「6-7割で導入されている」（広報部）。

2005年4月26日

日刊工業新聞

## 日本郵政公社

- 投資信託の窓口販売開始に向けたシステム構築を受注
- 2005年秋にサービス開始の体制を整える
- NRIは投信窓販用パッケージソフト「BESTWAY」を銀行向けに従来より提供、大きなシェアを獲得している

## 銀行

### 一般債振替システム

~ I-STARをベースに共同利用型  
システムを開発 ~

- 一般債の照合・振替制度が2006年より施行されるのに向け、一般債振替業務の全般を一元的に管理できるサービスを提供
- I-STARをベースに共同利用型システムとして提供、証券会社、銀行などの利用を見込む

2005年5月24日

日経金融新聞 3面

# 第1四半期の取り組み

## 保険

### あいおい損保

～情報漏洩対策～

- あいおい損保の業務用PCに、NRIセキュアの「SecureCube」を導入し、セキュリティを強化。
- PCの生体認証と、NRIの「オブジェクトワークス」を採用した新基幹業務システムを連携させ、基幹業務システムの利用権限制御などを行うことも計画

2005年7月1日 保険毎日新聞

